

4. 広報活動

4.1 広報活動について

○広報計画の策定

- 令和3年度の広報の基本方針、広報の目的と活動方針等を広報計画として定めた。またそれを踏まえ、広報の重点項目とそれを実現するための行動を広報計画のアクションプランとして策定した。
- 令和3年度広報計画は、国民の認知を広め、住宅・社会資本分野における国の研究機関としての信頼を高めるための「広く認知を高める広報」、研究段階の特性に応じて研究内容が専門家に伝わるための「研究段階の特性に応じた広報」を広報の二本柱として策定した。
- 広報活動を重点的かつ効率的に実施するためのアクションプランを作成し、以下を広報の重点項目として設定した。
 - (1) 広く認知を高める広報（記者発表）
 - (2) 研究活動についての広報（ホームページの充実や、実験等の動画による発信）
 - (3) 研究成果の社会実装のための情報提供

○主な広報活動の実施

- つくば地区での広報活動の方針検討および広報の効果的な実施を目的に、管理部門及び各研究部の代表者からなる広報戦略室会議を開催した。
- 令和3年度の記者発表件数は56件となった。記者発表を中心として、広報活動を行った結果、令和3年度の各種メディアにて報道件数は238件となった。

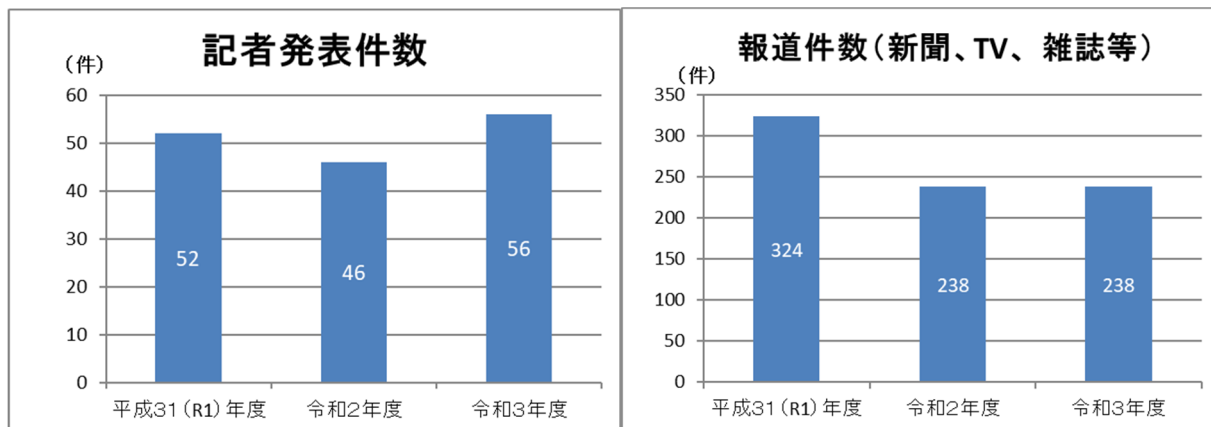


図1 記者発表件数（人事異動、指名停止措置を除く。）ならびに報道件数

- 国総研が実施する災害時の専門家としての現地支援や災害調査等について、ホームページ上で発信した。令和3年度は7月、8月の豪雨災害、令和3年10月の千葉県北西部を震源とする地震及び令和4年3月の福島県沖を震源とする地震に対する国総研の活動を取りまとめて発信した。
- 令和3年度国総研講演会はオンデマンド配信とし、令和3年12月20日から国総研ホームページ上で13本の動画を公開した。
- 外部のイベント（ぼうさいこくたい、テクノロジーショーケース）での展示・発表等により、国総研の取り組みについて紹介した。
- 実験等の動画として、道路基盤構造実験施設、ハンプ、粘り強い海岸堤防、実大トンネル実験施設土砂堆積実験及び衝突実験施設の動画等を制作し、YouTube上で公開した。
- 国総研英語版ホームページにおいて、国総研ホームページでの国総研資料の新規掲載に合せた随時更新や、Informationの項目を分かりやすくなるよう修正するなどの更新を行った

- 第28回目となる「ボール紙で作る橋コンテスト」を開催し、つくば市内の小学校4,5年生から452作品の応募があった。入賞した18作品に対して、コロナ禍で感染リスクに配慮しながら表彰式を開催した。
- 職員の広報スキルの向上のため、「「伝わる」ホームページとWeb活用」をテーマとして、所内講演会を開催した。